

# おお大勝利

平成 25 年度山東サッカー部報第 5 号 (4 月 30 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## Y2リーグ モンテユースB戦 後半崩れる

4 月 28 日 (日) Mリーグ第二節寒河江工業戦が山形明正高校Gで行われました。この節のスターティングメンバーは全員が 3 年生。3 年生の力を結集して、県総体の切符を勝ち取るうというコンセプト。

試合が始まると早々にビッグチャンスを迎えるものの、それを逃す。そして、その後も、ゴール前での攻防が続くもののネットを揺らすまでには至らない。ようやく 10 分を過ぎたくらいで先制。その後も加点し、前半 3-0。後半は逆にすぐ得点するものの、その後、膠着状態が続き、結局かつ井ことカウトが終了間際にとどめのドリブルシュートを決め、5-0 の勝利。攻めるものの、ゴール前を固める相手を崩しきれない課題が浮き彫りになる試合。**狭いエリアを攻略していく練習の必要性**を感じました。そりゃあそうです、スキルで劣り受け身に立つ試合が多いだけに、相手ゴール前で攻め続ける試合なんて、経験したことがないんです。**ミドルシュートをしっかり決めることができる選手がいれば、攻略の前段階で得点することができるんですがね~**。ただ、前節同様、この試合でも故障者以外の 3 年生を全員起用することができ、全体で公式戦を堪能できたことは収穫でした。

4 月 29 日 (月) は Y 2 A 第四節モンテユース B 戦。場所はベスパ第一 (クレー)。ここまで圧倒的な攻撃力を示し、能力の高さを見せているモンテユース B。プリンスリーグ東北に参加している A は「得点力不足」(モンテユース監督) が課題のようですが、その分 B が得点している (カテゴリーは違いますが)。なかでも**注目の選手は、右 MF ルイ**。そう、山東 3 年リクの弟にして、学校は山東 (の 1 年生)。ジュニアユースからユースに内部昇格してしまった！選手。対する兄リクは左 MF。ということは・・・そう、**兄弟マッチアップ**が繰り広げられるのです！！ リーク戦の前期優勝を目標の一つに掲げる山東にとって、この試合はとても重要なのですが、それとは別にこの兄弟対決が興味を掻き立てる。

試合が始まると、まずチャンスをつかんだのはモンテ。ペナルティエリア付近で丁寧なショートパスが続き、最後は右から (ということは山東の左から) ルイが体をねじ込みながら突破しシュート。ボールはわずかにファーサイドに切れる。やはり、モンテは攻撃力がある。そして、ルイは鋭い。ただ、ちょっと角度がなかったか。しかしその後は、山東の鋭い出足が勝り、ルーズボールを拾い、相変わらず浮き球のアバウトなパスが続くもののそれを連続攻撃につなげる山東のペースになっていく。コテツチャンがよく起点として機能しているし、リクの突破力はモンテの脅威になっている。「今日はリク調子いいな~、「俺がお兄ちゃんだ~シュート」決めてくれないかな~」とベンチで軽口を叩いていると、トップスピードを維持したままトラップからドリブルに移行し、完全に相手 DF 陣を置き去りにしたリクが、鮮やかにネットを揺らし、山東先制。出た！俺がお兄ちゃんだ~！！ **素晴らしい加速、素晴らしいフィニッシュ**。その後も山東の押し気味の展開が続き、**前半を 1-0** で折り返す。

しかし後半、すぐ押し込まれ、浮き球のルーズボールを**クリアしきれず**にいると、ふわりと技巧的なループシュートを打たれ、開始 50 秒で同点とされる。試合開始の 5 分 (10 分) と終わりの 5 分 (10 分) は特に集中が必要とよく言いますけどね～。呆気ない同点劇。その後、一進一退が続く。山東も攻められない訳ではないが、サイドから挟んでもそれがフィニッシュに結びつかないことが多い。そうこうしていると、モンテにCKを取られ、ニアサイドのヘディングでボールに触れず**クリアしきれず**中央にボールを流すと、そのボールをヘディングで決められ、逆転を許す。そして！ クリアボールが相手に当たり、**クリアしきれず**にいると、そのボールからショートカウンターを受け、角度のない所からでしたが、とどめの 3 失点目を許してしまう。一失点目も三失点目も、クリアにて足を大振りせずミートだけを心掛ければ、少なくともすぐの失点は防げたのでは、と思わないでいられない。いや、それよりも、**守備においては味方がミスをするかもしれないという悪い想定の下、心の準備・体の準備を行い動作を開始**していれば、その次で防げたはず。そういうサッカーの基本原則通りに無意識にでも動けるレベルにまで、指導者が選手を導いていないということ。甘さが出る 3 失点。その後、山東も最後の粘りを見せ、バーを叩くシーンを作ったり、残り 2 分くらいでCKのゴチャゴチャから意地の 2 点目を奪うものの、**結局 2 - 3 で敗戦**。この節、特にセットプレーに期待していたのですが、ゴチャゴチャから決めたCKにしても鮮やかな形ではゴールネットに近づくことができず、逆に相手にそれを決められてしまう悔しい敗戦。ジャイアントイ○トなどの爆発が待たれる。

帰り際、リクに、「(得点したことを含め) 兄弟対決では兄が勝ったけど、弟のチームが勝利し、御両親はどちらの面目も保って、喜んだだろうね」と語りかけるも、「ルイが決めリクが決められない(兄弟対決では兄が負ける)が、2 - 1 くらいで山東が勝つ、って方が良かったな～」という結論に、やはりなりました……。

次の県リーグはちょっと間があります。すぐに来るのはMリーグ第三節山本学園戦。ともに二勝のため、勝った方がリーグ 1 位で県総体出場権獲得。得失点差の関係で引き分けでも山東のリーグ 1 位となりますが、もちろん勝ちを狙って臨みます。応援よろしく願います。

**5月3日(金) Mリーグ第三節 山本学園戦 @山形明正 G 10:00~**

保護者会歓迎会・激励会 賑やかに挙行さる

4月28日(日)パレスグラウンドにて、保護者会主催の25年度新入部員歓迎会および総体予選激励会が開催されました。新入生はマネージャー2名を含む合計11名。ということは**1年生選手9名!** ん～少ない。タダの代(大学2年の代)以来の少なさ。2年生も当初こそ選手15名とまざまざでしたが、その後3名退部したので、現在12名。ということは1、2年合わせて21名! ということは、遠征先で2チーム作れない!! これはかなり深刻な問題です。しかし、歓迎会・激励会自体は、多数の保護者の皆さまの出席により、総勢では100名を超える。OB会からは、**清野会長、後藤報道局長、芹川トレーナー、齋藤GKコーチ**の4名のご臨席を賜り、賑やかに挙行されました。

齋藤保護者会会長から、活き活きとした子どもたちの活動を応援できることの幸せに触れたお話をいただき、山東サッカー部のチームカラーについての顧問の話の後、宴会スター

ト。退院翌日にも今季Yリーグの応援に駆け付けた清野OB会長による「絶対に勝つ」という気持ちの大切さのお話に始まり、OB会の皆様と志村顧問に順にコメントしていただいた後は、恒例の生徒による決意表明。2年、1年、3年の順でステージに上がる。**2年生**は、可もなく不可もなく。特筆することなし。**1年生**は、かつ井とおなじ楯岡出身のリトルマッスル、ピラフことヒラクの筋肉だけが、印象に残っています。以前CMで「私、脱いでもすごいです」というキャッチコピーが流行りましたが、ピラフは差し詰め「脱いだらすごいです」ですね。**3年生のキャプテン・副キャプテンいじりは例年の通り**。サ○クに彼女ができたことをばらしたマサノブの発言がもっとも印象に残っています。**会の最後は、この代の保護者（3年生保護者）恒例の、「一人ひとり激励」**。特に、イギータ父が「彼女を作ってください」と息子を激励したことが、もっとも私の琴線に触れました。松田さん、総体予選激励会ですよ！でも、爆笑の渦を作ったエクセレント・スピーチでした！！

選手・顧問は、県総体の切符を勝ち取り県総体を勝ち抜くためエネルギーを頂戴しました。保護者会の皆様、ありがとうございました。

---

## 秋田遠征

### 【日程】

5 / 5 (日)・・・7:30 学校出発 12:00 宿舎到着 13:00～18:00 交流試合

5 / 6 (月)・・・9:00 交流会参加 15:00 帰り出発 18:30 学校到着

### 【会場】

学校法人ノースアジア大学明桜高等学校サッカー場 または ノースアジア大学サッカー場

### 【引率者】

サッカー部顧問今野 誉康、志村 克久 GKコーチ齋藤 雄

### 【宿泊先】

秋田温泉さとみ

(〒010-0822 秋田県秋田市添川字境内川原 142 - 1

TEL : 018-833-7171 FAX:018-833-3718)